

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



2024-25年度 RI会長/ステファニー・アーチック
RI.D2590ガバナー/長戸はるみ
横浜旭RC会長/北澤 正浩

ガールスカウト
とクリーン作戦



第11回 チャリティーコンサート

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区万騎が原33/〒241-0836
TEL.080-1215-6668/FAX.045-362-0024
<http://yokohamaasahirc.org>
Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川駅ジョイナステラス3/4Fコミュニティサロン
例会日 月3回水曜日/12時30分～1時30分

2024年8月28日 第2553回例会 VOL.56 No.6

■司会 SAA 関口 大樹

■開会点鐘 会長 北澤 正浩

■斉唱 我等の生業

■出席報告

会員数	20名	本日の出席数	12名
本日の出席率	63.15%	修正出席率	68.42%

■本日の欠席者

福村、市川、草柳、目黒、中谷、二宮、宋、

■皆出席祝

田川会員 12年



■会長報告 北澤 正浩

皆様、こんにちは。まず皆様ご存じかと思いますが、当クラブの名誉会員であります矢田昭一さんが8月5日に、ご逝去されました。心からお悔やみ申し上げます。

矢田さんは、36年間という長きにわたり、当クラブを支え続けてこられ、その功績とご尽

力は計り知れません。温かい人柄と献身的な姿勢は、私たち全員の心に深く刻まれています。名誉会員になられてからも、度々お会いする機会があったのですが、いつも張りがある元気な声で「クラブは今どうだ？」といつも気にされていたのかもしれませんが、入院されているということは聞いていたのですが、近いうちにご自宅に戻るとも聞いていたので安心していたのですが、このようなことになったことに驚きが隠せません。

矢田さんが示してくださった模範的なリーダーシップと、地域社会への貢献は、今後も私たちの手本として受け継がれていくでしょう。矢田さんが安らかに永眠されますよう、ご冥福を心からお祈り申し上げます。

本日は、私たちのクラブにとって今期初の夜間例会を開催する運びとなりました。これに伴い、会場も初めての場所であるため、多少の戸惑いを感じているのが正直なところです。しかし、この新たな試みがクラブの活動にどのような影響を与えるのか、とても楽しみでもあります。今年度においては、月に一度の頻度で夜間例会を実施する方針となっており、これにより通常の例会よりも出席しやすい方々がいらっしゃるのではないかと考えております。特に、

昼間は仕事や他の予定がある方々にとっては、夜間の開催はより参加しやすい機会となることを期待しています。

また、今回の企画には盛り込むことが叶いませんでしたが、将来的には例会中に食事を摂ることができるような計画も検討しており、これによりリラックスした雰囲気の中での交流が促進されることを目指しております。食事を共にすることは、参加者同士の親睦を深める大きな要素となると信じています。

クラブの運営においては、伝統や既存の手法を遵守しつつ、新たな試みを積極的に取り入れることが重要であると考えています。私たちのクラブが未来に向けて成長し続けるためには、柔軟な発想と創造性が求められるのです。今回の夜間例会が、皆さんにとって有意義な時間となり、交流や情報交換の場として成功を収めることを心より願っております。皆さんのご参加を心から楽しみにしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

■3ヵ年プロジェクト 五十嵐 正

先週親睦委員会より情報集会の案内が発表されました。その中でテーマが3ヵ年プロジェクトとありましたので、プロジェクトの概略をご説明させていただきます。ただ、地区での研修が行われていない段階なので、大筋での説明となります。(p5・6参照)

■ニコニコBOX

北澤 正浩／日向さん、関澤さん、イニシエーションスピーチ楽しみです。

田川 富男／皆出席を頂きましてありがとうございます。

安藤 公一／日向さん、関澤さん、イニシエーションスピーチよろしくお願いいたします。楽しみです。

新川 尚／日向さん、関澤さん、イニシエーションスピーチ楽しみです。

佐藤 勉／日向さん、関澤さん、イニシエーションスピーチ楽しみです。よろしくお願いいたします。

岡田 隆／日向さん、関澤さん、本日の卓話楽しみです。よろしくお願いいたします。

関口 大樹／日向さん、関澤さん、本日のイニシエーションスピーチ楽しみです。よろしくお願いいたします。

佐藤 真吾／日向さん、関澤さん、イニシエーションスピーチ楽しみです。

■イニシエーションスピーチ

横浜市旭区薬剤師会 日向 彰



私は、横浜出身の父と長崎出身の母の長男として1974年4月に横浜で生まれました。その2年後に妹が生まれ、家族4人で横浜市港南区に住んでいました。今は妹は結婚して神奈川区に住んでおり、現在は両親と私の3人で暮らしています。生まれてから4回引っ越しをしていますが、全て港南区です。

「男が生まれたら是非野球をやらせたい」という長嶋世代の父の強い想いもあって幼少期より野球をやっていました。また母が喘息を持っていたため、心肺機能の鍛錬を目的として、水泳教室にも通っていました。それ以外にも母方の祖父母が警察官だったこともあり、小学生からは空手や剣道、柔道なども習っていました。昔から体を動かすこと自体好きだったので、こういった習い事は柔道以外のものは好きだったのですが、一方でじっと座っている習字や勉強はあまり得意ではありませんでした。小学校時代は授業中もあまり集中できておらず、集団で一緒に行くことは苦手で、読書や絵を描くことが好きな子供でした。

落ち着きがなく、興味があるものを見つけるとすぐにそこへ行ってしまうため、目が離せない子供だったようです。

そんな私に1回目の転機が訪れます。それは

小学生時代、キャプテン翼の連載開始です。仲の良い友達の多くがサッカーに流れていってしまい、私も小学校5年生からサッカーを始めました。始めた当初は「野球をやっていたのだからボールを取るのが上手いはず」という監督の安易な考えでキーパーをやらされていましたが、最高学年となった6年生からは念願のフォワードをさせてもらえるようになりました。

サッカーは私に合っていたようで、その後も続け、大学時代はキャプテンも務めています。現在も定期的にフットサルをして汗を流しています。大学時代に聞いたのですが父は本当は野球を続けてほしかったそうで、サッカーを始めた時はかなりショックだったそうです・・・。

私の両親は共に高校卒で就職していて、自分の子供達には大学に行かせたいという思いがあり、全ての学部がある日本大学が良いとの考えで、中学から計10年間日本大学に通うことになります。

そして高校生の時に2回目の転機が訪れます。それは進路です。もともと私の得意な教科は英語、国語、社会、理科とかなり文系寄りでした。高校1年生の時にはまだ将来の進路について深く考えてはいませんでした。何となく弁護士など法律関係の仕事に就きたいと考えていました。警察官だった祖父から「弱い人を守る人間になれ、人の役に立つ人間になれ」と言われていたことも影響していたと思います。

転機が訪れたのは高校2年生の夏です。40℃以上の熱が続き、家にあった市販薬を何回飲んでも全然熱が下がらず、症状もどんどん悪化して意識朦朧の状態で行きました。麻疹でした。病院で点滴をされている最中に意識を失い、その後2日程度意識が戻らなかったそうです。母親は死を覚悟したと言っていました。意識が戻った後、母の泣く姿と繋がれた点滴が自分の中で強いイメージとして残りました。その後順調に回復して1週間程で退院しましたが、それ以降考え方が変わり、生と死に関して強い関心を持つようになりました。

先程もお伝えしましたが、母は喘息を持っていて、時々入院していたこともあり、高校2年の冬には医療について学んでみたいという気持ちが強くなりました。そして高校2年の冬に面の前で祖父が狭心症発作を起こしました。祖父から持ってくるように言われた薬を飲ますと、それまで冷や汗を流し苦しんでいた祖父がすぐに元の状態に戻りました。その時に、薬がどうして効くのか、体にどのような作用をするのかに非常に強い興味を持った記憶があり、それが薬学部を目指した原点だったと思います。

その後無事に薬学部に入りましたが、勉強は結構ハードで、現在薬学部は6年間になりましたが、当時から4年間では全て学ぶのは時間的に難しいと言われており、連日遅くまで勉強や研究をしていましたが、新しいことが分かる喜びの方が強く、とても楽しい大学生活でした。

卒業後は地元港南区のドラッグストアに就職しますが、1999年に旭区の調剤薬局に就職して以降はずっと旭区で働いています。就職先として旭区を選んだ理由は特になかったのですが、これまで多くの方々を支えられ、現在では薬剤師会の会長を務めており、更にこのようにロータリーの方々ともお会いできていますので、今となっては何か見えない縁があったのだと思っています。

薬剤師としては、薬局での業務だけではなく、薬局外でも様々な活動をしています。私が特に力を入れているのは災害医療です。東日本大震災が発生した2011年3月11日、私は薬局で仕事をしていました。大きな揺れの後、TVで見た津波の映像は今も忘れられないです。当時国からの要請を受けて神奈川県薬剤師会から第1陣として福島県に派遣され支援活動を行いました。そこで見た光景、経験したこと全てが衝撃で、自分は十分に支援活動が行っていたのかという反省を基にその後災害医療を本格的に学んでいきました。

現在では、横浜市薬剤師会と神奈川県薬剤師会の両方で災害対策委員会の委員長を務め、新

型コロナウイルス感染症でのダイヤモンドプリンセス対応、能登半島地震支援等を行っています。この辺りのことは来月の職業講話で詳しくお話したいと思います。

私自身が普段から心掛けていることは、周りの方々への感謝です。私自身とても運が良く、人との出会いに非常に恵まれている環境にあると思っています。今の自分があるのも周囲の方々のお陰だと思っています。

私の基本的な考え方は「まずやってみる」、「変化を恐れない」、「前例のないことはワクワクする」、「正しいことを正しい方法で行えば、必ず道は開く」です。まず行動です。

最後になりますが、私の座右の銘は、山月記にある「人生は何事をも為さぬには余りに長い、何事かを為すには余りに短い」です。

一日一日を大切に、そして楽しく前向きに、周りにいる多くの方々感謝しつつ日々活動していきたいと考えています。皆様これからもどうぞよろしく願いいたします。

■イニシエーションスピーチ 関澤 信吾



A. 生い立ち

1977年8月2日に父母、兄2人5人家族の三男として生まれる。旭区上川井町に生まれ一度川崎市の登戸に住むもそれ以外は上川井在住、地元の上川井幼稚園、上川井小学校、都岡中学校に通い、高校は私立の湘南工科大附属へ行き、一浪して専修大学商学部会計学科へ進み、二年生で一年留年してなんとか24歳で卒業。

B. 家族構成

妻、長男（小4）、次男（小1）、三男（年中）の5人暮らし、父から相続で譲り受けた実家横

に、2020年建て替えをして新居を構える。

C. 職業のアウトライン

大学卒業後は東京日産モーターという都内の自動車ディーラーの本社経理として採用され、2年後に店舗へと2年の営業研修へ出る。経理時代はなかなかの薄給で、営業は実績により給与面は上がったものの、定休日が水曜日で土日に休みづらいため、当時最初の結婚を考えていたこともあり、28歳で一念発起し転職することに。

2006年に現在の仕事の前身であるAIU保険会社に入社し、5年間でお客さんと売上を作り独立できる制度にチャレンジすることとなりました。なんとか2011年無事に独立することができ、父が持っていた保険とは全く関係のない事業をしていた萬商工株式会社という称号を引き継ぐこととなりました。それから2015年に株式会社ナカムラと合併し現在に至ります。この続きはまた職業卓話にて。

D. 趣味や特技

趣味はもう10年ほど続けているゴルフでベストスコアは90です。ほとんど練習しないため上達しませんがコースで飲むお酒が大好きです。特技は小学5年から続けているサッカーで、一番厳しかった高校時代にしっかり鍛えてもらい、現在も40歳台のカテゴリーで、神奈川県シニアサッカーと地元の仲間のチーム2つで続けることが出来ています。

長男次男もサッカーをしているため、週末はパパさんコーチとして駆り出されています。

E. 信条または信念

好きこそものの上手なれ。

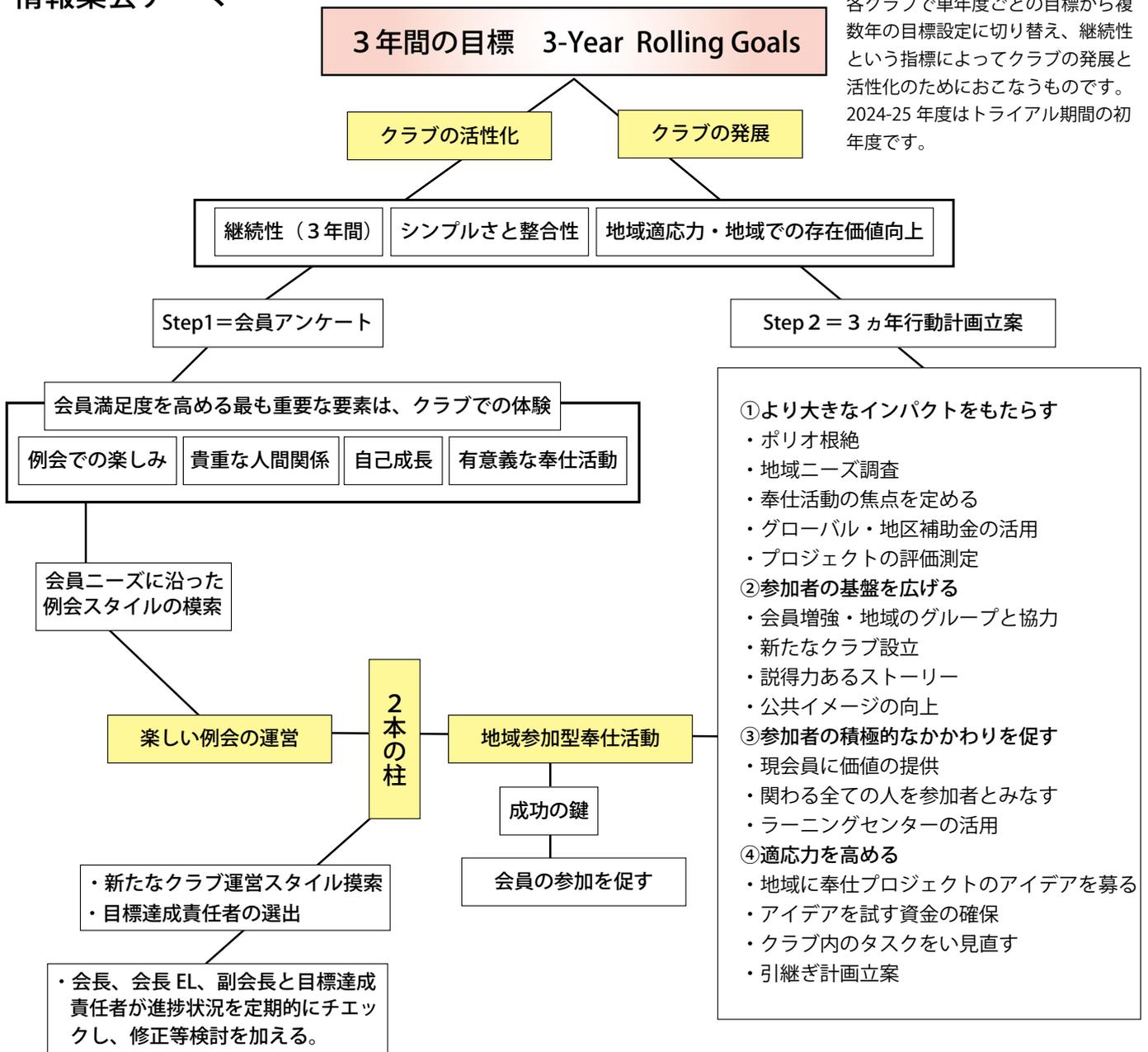
高校時代は部活でレギュラーになれず、現役引退してから1年ほどサッカーから離れましたが、チームメイトが声をかけてくれたおかげでまた再開でき、それからは本当に楽しくなり現役時代よりもうまくなった実感があるからです。

■次週卓話 9 / 11

吉田善成様（神奈川県旭警察署長）

情報集会テーマ

各クラブで単年度ごとの目標から複数年の目標設定に切り替え、継続性という指標によってクラブの発展と活性化のためにおこなうものです。2024-25年度はトライアル期間の初年度です。



①皆がより楽しめる例会のアイデア

例) 交流を目的に、月に一度レストラン等で例会を開く。

②地域参加型奉仕活動（資料・裏面）

※地域防災の提案で良いか。別の提案はないか。

③会費について 例) 財団・米山の寄付金を会費に入れる。

災害時の食をテーマにした旭区の地域ボランティアの組織設立提案

